



Restay

全国50店舗を展開する(株)Re·stayが 豊富なホテル経営・運営ノウハウをもとに レジャーホテルのコンサルティング業務を本格的にスタート

(株) Re·stay

直営・運営受託を含め、全国で50店舗のレジャーホテルを展開する(株)Re·stayは、レジャーホテルの経営・運営のコンサルティング業務を本格的にスタートさせている。

同社はその前身のアイネグループ時代からレジャーホテルの運営受託をメインにした各種コンサルティング業務を展開しているが、レジャーホテルを取り巻く現状の厳しい経営・運営環境下、売上げ・集客アップはもとより、何よりも事業として確実な収益確保を図りたいという経営者からの切実な相談が多く寄せられたことから、今回新たにレジャーホテルの売上げ・収益確保をメインにしたコンサルティング事業「レスティ・パートナー・シップ」を展開することとなった。

景気の低迷、新規参入企業の増加による競合激化、行

政の規制強化、さらには運営・管理コストの高騰など、まさに逆風下にあるレジャーホテル業界において、事業を長期的に維持し、さらに発展させるためには、どのような視点からの取組みが求められるのか。同社の豊富な経験とノウハウに基づく販促やスタッフ教育・指導、さらにはグループとしてのスケールメリットを活かしたコスト削減提案など、同社ならではの個々のホテルのニーズに合致したキメ細かなコンサルティングを行なうとしている。

同社代表取締役・宮原眞氏に、今後の事業展開について伺うとともに、同社が今年7月23日、茨城県水戸市の「Re·stay水戸」内にオープンしたエステティックサロン「Santai Villa水戸店」の概要について合わせてレポートする。

“第三者の視点”から ホテルの問題点を徹底的にチェック

——今回、新たにレジャーホテルの経営・運営のコンサルティング業務「レスティ・パートナー・シップ」をスタートされた

わけですが、まずはその経緯からお聞かせください。

宮原 当社は現在、直営・運営受託を合わせて全国で50店舗のレジャーホテルを展開しているわけですが、そうした店舗展開の一方で、2006年にグループ

10店舗において業界初となるISO9001の取得を実現し、同年10月には「ホテル パニラ」(長野県上田市)を、自然環境に配慮した「エコホテル」の1号店としてリニューアルオープンしました。

また、07年にはグループ19店舗の証

券化を行なうとともに、レジャーホテル初となるムードーズによる格付けも取得しています。

当社は2003年7月の会社設立以来、これまでレジャー・サービス業としてのさまざまなトライアルに取り組んできたわけですが、そうした取組みを通してスタッフのレベルアップとともに、より精度の高いホテルの経営・運営システムの構築を実現しました。今回の事業展開は、そうしたノウハウを業界において活用していただきたいという思いからスタートしたものです。

——運営受託というよりも、コンサルティング業務がメインになるのですか。

宮原 もちろん、運営受託もご要望があれば対応させていただきますが、現在のレジャーホテルは、景気低迷や飲酒運転の罰則強化、ガソリン代の高騰といった集客面のマイナス要因のほか、運営・管理コストの高騰など、経営面でも厳しい状況にあります。つまり、“現状の集客・売上げをいかにアップさせるか”というに加えて、“ホテルとしての収益性をいかに向上させるか”という視点が求

められているのです。これを一言で言えば、財務面も含めた企業、ホテルとしての強い経営体質の構築ということになります。集客・売上げを右肩上がりで推移させることが非常にむずかしい現状のレジャーホテル業界にあって、堅実な事業展開を実現するためのサポートをさせていただければと考えております。

——コンサルティングの具体的な内容としては。

宮原 ご相談をいただいた段階で当社スタッフが直接ホテルにお伺いし、まずそのホテルの状況をキメ細かくチェックします。チェックシートは100項目以上あり、実際にグループ店舗で使用しているシートをベースに独自につくり上げたものです。内容としては、外観からエントランス、ロビー、共有部、客室内のメンテナンス状況といったハード内容のチェックから、清掃の取組みやスタッフシフトの状況、さらにご要望があれば、人件費など運営・管理コストといったことも細かくチェックします。

“第三者の視点”でホテルのハード・ソフトを徹底的にチェックするという取組みが重要なものであり、それにより経営者や支配人が気づけなかったマイナス面や弱点などが浮上してくるのです。

そして第二段階として、そうしたマイナス面や弱点をいかに克服するかという視点から、さまざまな改善提案をさせていただきます。



Re-stayグループとして蓄積したホテル経営・運営に関する豊富なノウハウを教材として提供

長期的な視点に立った 戦略的なコンサルティングを展開

——先行事例としては。

宮原 すでに長野県のあるレジャーホテルのコンサルティングを行なっています。徹底したチェック作業によってそのホテルの弱点を指摘し、現在は当社の改善提案のもとに運営に取り組んでいただいております。

コンサルティングにあたっては、当社スタッフが一定期間そのホテルに常駐して指導に当たるとともに、その後も定期的な運営面のチェックおよび指導を行ないます。つまり、改善提案を行なって終わりというのではなく、その改善提案に基づいて実際に経営・運営を指導し、その効果が確実な数字として実現されるまでサポートさせていただきます。

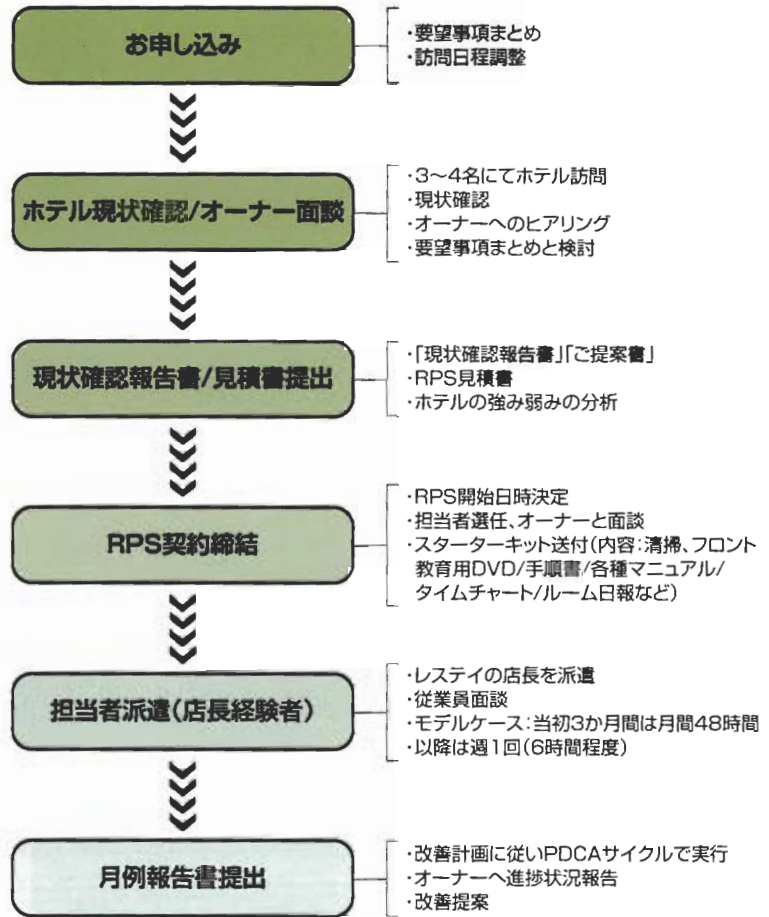
そのため、コンサルティングの契約期間は最低でも1年間はいただきたい。ひとつの課題点をクリアし、さらに次のステップの課題に挑戦するというように長期的な視点に立って収益力の高いレジャーホテルとしての経営・運営の構築を図っていきたいと考えています。

——コンサルティングを行なう際の基本的な考え方としては。



「Santai Villa水戸」

RPS(レストイ・パートナー・シップ)のフローチャート



宮原 サービス業に求められる要素として、“人・モノ・金”の3つがあげられるわけですが、現在、ホテル経営者の多くは資金調達に苦慮され、最新のデザイン設備といったハード面の訴求が困難という状況にあります。そのため、今後ポイントになるのが“人”の部分の充実です。“マンパワーの高いホテル”が繁盛店づくりのキーワードであるといえ、そうした視点に立ったスタッフの教育・管理については特に注力しています。スタッフのスキルアップ策として、当社グループホテルで実地研修を行なうことも可能ですし、人材不足であれば、当社スタッフをホテルに派遣します。

——貴社はこうしたコンサルティング業務の一方で、グループホテル内にエステ施設を出店するなど、新たな取組みにも挑戦されています。

宮原 今年7月23日、グループ店舗の「Re・stay水戸」に、エステ施設「Santai Villa水戸店」を新設しました。首都圏を中心にエステティックサロンを展開する株エスピーエムとの業務提携により実現したものです。ホテル周辺の再開発に対応して計画したもので、ホテル併設のエステティックサロンとして単独での運

営を目指すとともに、「ルーム休憩2時間+エステメニュー 30分でドリンクと食事が付いて1人6,000円」といった、レジャーホテルとのセットプランの販売も積極的に行なっています。

レジャーホテルに対するエンドユーザーの意識は大きく変化しています。カップルユースをベースにしながらも、今後はホテル空間としての新たな需要の開拓ということも考えていべきだと思います。もちろん、今回のSantai Villa水戸店の開発・運営を通して得たノウハウも、コンサルティング分野において活用していくつもりです。

——今後、エステ施設を既存店舗に併設

される意向ですか。

宮原 ホテルの規模や立地によりますが、可能性があれば展開していきたい。従来の考え方に捉われずに常に新たなトライアルに取り組むということが、当社の事業展開の基本コンセプトになるわけですから。

——本日はありがとうございました。

企業概要

- 企業名 ■ 株式会社Re・stay
- 所在地 ■ 東京都中央区銀座1-14-4
フレリー銀座ビル9F
- 連絡先 ■ 03-5159-2391
- 設立 ■ 2003年7月23日
- 資本金 ■ 3,000万円
- 代表者 ■ 宮原眞
- URL <http://www.restay.com>



「Santai Villa水戸店」のオープニングパーティで挨拶するRe・stay代表取締役・宮原眞氏



既存のレジャーホテルに 本格的なエステティックサロンを併設 ホテルと連動した多彩なプラン提供で 新たな需要の獲得を目指す

01

今年7月23日、㈱Re・stayが茨城県水戸市で経営する「Re・stay水戸」内に、エステティックサロン「Santai Villa水戸店」をオープンした。

Re・stayと、首都圏を中心に本格的なエステティックサロンを多店舗展開する㈱エスピーエムとの業務提携により実現したもので、Re・stayが約1,500万円を投じてホテル内に開設し、エスピーエムがテナントとして出店する。

Re・stay水戸の周辺は、以前は歓楽街として位置づけられていたが、現在、大規模な再開発計画が進められ、立地環境の大幅な変化が予想される。今回のSantai Villa水戸店は、そうした周辺環境の変化に対応して計画されたもので、レジャーホテル利用客への新たな付加価値サービスの提供とともに、エステティックサロンとしての単独での運営も目指すとしている。

ホテルの1階フロアに開発された施設は、

3台のトリートメントスペースとフロント、パウダールームで構成。店名の「Santai」はインドネシア語で“のんびり”“穏やか”の意で、店内はアジアンテイストによるシックで落ち着いた内装が施されている。

専門のエステティシャンが常駐し「ナチュラルトリートメントコース」「フェイシャルリンパコース」「まつ毛パーマコース」などの本格的なトリートメントを提供する。施設は女性専用で、ホテルとは別に独自のエントランスを設けて対応するとともに、ホテル内から直接入館できる動線も設け「レジャーホテル休憩2時間＋エステメニュー30分でドリンクと食事が付いて1人6,000円」といった、レジャーホテル利用と連動した多彩なセットプランも用意しアピールしている。

同社は、今回の1号店の運営を通して得たノウハウをもとに、今後はフランチャイジーとして、既存店舗への併設という形で多店舗化を図っていききたいとしている。



02

03

01～03 3台のトリートメントスペースで対応。うち1室は2人での同時利用も可能に



04



05



08



06



09



07



10



Restay水戸の客室。幅広い利用ニーズに対応したバラエティに富んだ高品質な空間を提供している

- 04 専門のエステティシャンにより、「ナチュラルトリートメントコース」「フェイシャルリンパコース」「まつ毛パーマコース」などの本格的なトリートメントが楽しめる
- 05, 06 女性客を意識した高級感のあるフロントスペース
- 07 ゆったりとくつろげるパウダールームも完備
- 08 専門のエステティシャンが常駐し本格的なサービスを行なう
- 09 ホテル駐車場入口に設置したPR看板。ホテル利用客への販促も積極的に行なっている
- 10 ホテルとは別動線を設けて新設した「Santai Villa水戸店」

施設概要

店舗名 ■ Santai Villa水戸店
 所在地 ■ 茨城県水戸市天王町6-5
 Restay水戸1F
 連絡先 ■ 029-232-8374
 受付時間 ■ 12:00~20:00(予約制)
 定休日 ■ 日曜日